

多様

な生きものと

“あたりまえ”に暮らすまち

2021年度
生物多様性アクションプラン
進捗状況及び点検・評価

岐阜市自然環境保全推進委員会

岐阜市生物多様性プラン

計画期間：2016年度－2025年度

第2期アクションプラン
2020－2022

岐阜市生物多様性プラン

計画期間：2016年度－2025年度

目 次

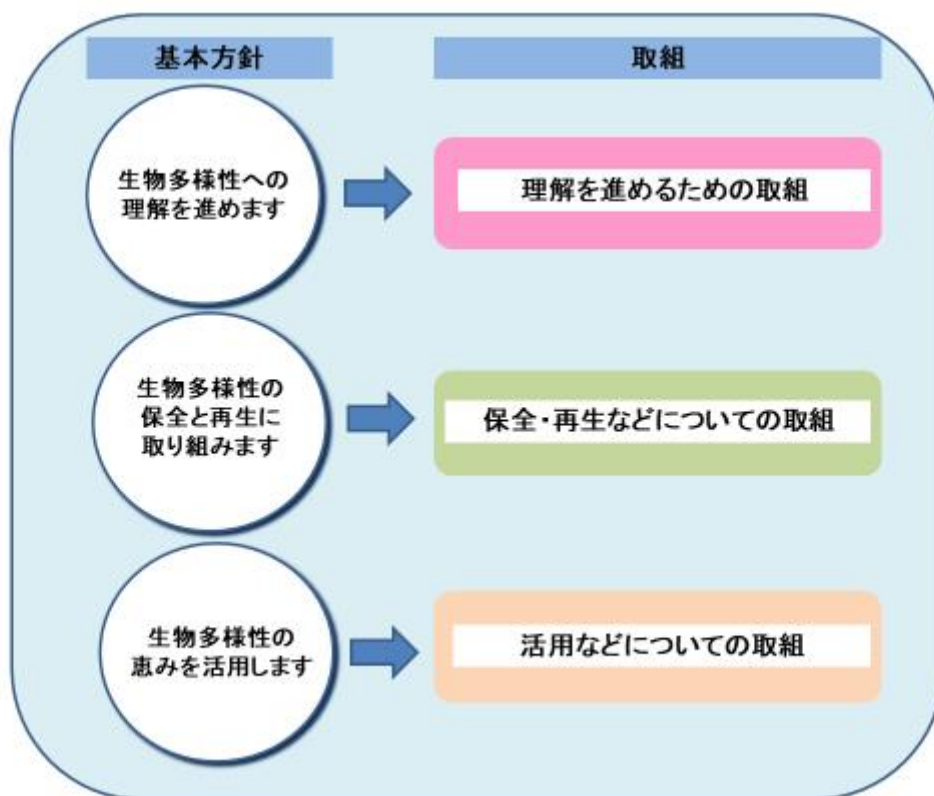
1. アクションプランの目的	1
2. アクションプランの期間	1
3. 第2期アクションプランの構成	
(1) 改定方針の考え方	2
(2) 重点目標の見直し	2
(3) アクションプランの構成	2
4. アクションプランの管理方法	3
5. アクションプランの指標と目標	4
6. アクションプラン総括表	
(1) 個別目標	5
(2) 全体評価	5
7. 個別目標	
(1) 個別目標個票 A1	6
(2) 個別目標個票 B1	7
(3) 個別目標個票 B2	8
(4) 個別目標個票 C1	9
(5) 個別目標個票 D1	10

1. アクションプランの目的

2016 年 3 月に策定した岐阜市生物多様性プラン（以下、「生物多様性プラン」という。）では、目指すべき将来の岐阜市の姿を「**多様な生きものと“あたりまえ”に暮らすまち**」とし、3 つの基本方針に基づく取組を推進することとしています。

「生物多様性プラン」では、この取組の進捗状況を管理していくために、およそ 3 年ごとの数値目標を設定したアクションプランを作成することとしています。

図 1 岐阜市生物多様性プランの体系



2. アクションプランの期間

アクションプランは 3 年ごとの期間とし、「生物多様性プラン」の計画期間の間に 3 回にわたってアクションプランを改定します。

表 1 アクションプランの対象期間

西暦年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
和暦年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
生物多様性プラン	策定									目標年度
アクションプラン		第 1 期アクションプラン			第 2 期アクションプラン			第 3 期アクションプラン		
		完了			策定			目標年度	策定	目標年度

3. 第2期アクションプランの構成

(1) 改定方針の考え方

第1期の進捗結果を踏まえ、達成度が低い取組を改善又は継続、達成度が高い取組を拡大に切り替え、アクションプランの見直しを行いました。

表2 第1期アクションプランの評価と策定方針の考え方

第1期アクションプランの個別目標	評価（達成度）	策定方針の考え方
A1 生物多様性認知度の向上	やや遅延	改善
B1 行政内部における生物多様性に対する理解の向上	順調	継続
C1 保全対象種の選定	順調	継続
C2 ホットスポットの選定	順調	拡大
D1 外来種対応指針の策定	順調	拡大
E1 行政・研究者・市民の協議会の向上	順調	継続
F1 「小さな自然再生」に係る協議・事業機会の向上	順調	継続
G1 長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動の向上	順調	継続
H1 生物多様性に関連した産業の推奨	順調	継続

(2) 重点目標の見直し

「(1) 改定方針の考え方」に基づき、第2期アクションプランで実施する重点目標を、「つながりの拡充・整備」を柱に整理・集約し、第1期で未達成だった目標「生物多様性の認知度向上」を改善します。

■重点目標「つながりの拡充・整備」

A 市民・行政内への周知・啓発

環境保全活動、環境教育、シンポジウムなどを実施し、市民・行政内部における、生物多様性の理解と認知度の向上を目指します。

B 生物多様性保全の連携ネットワークの拡大

市民・行政・有識者の連携ネットワークを拡大し、生物多様性の保全と再生の推進を行います。

C 生物多様性の現状把握と対策検討

「岐阜市の自然情報調査」を実施し、岐阜市の生物多様性の現状把握をすると共に、危機的な状況にある種等の保全のありかたを検討します。

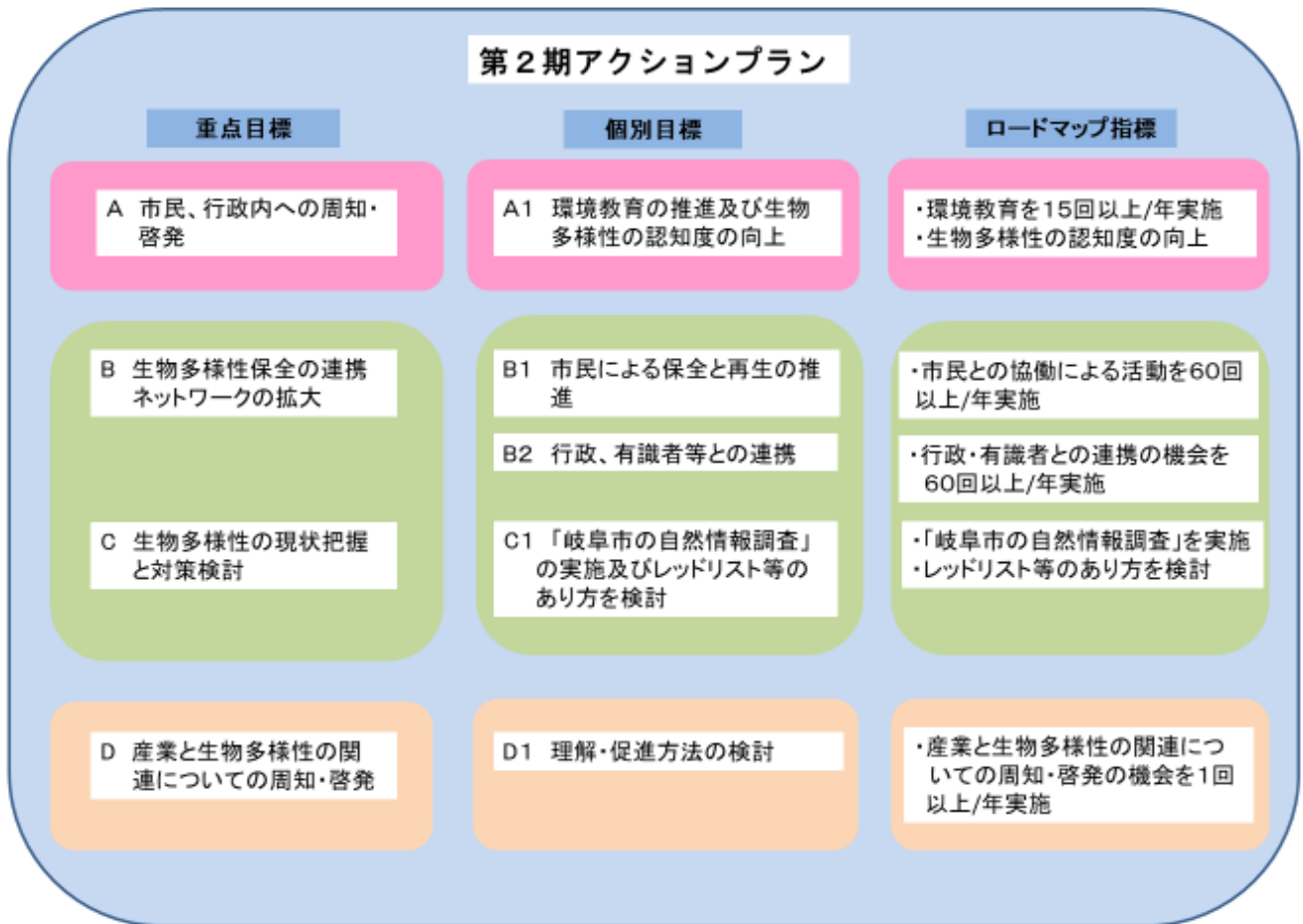
D 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発

産業のなかには、生物多様性と深く関係するものがあることを周知・啓発します。

(3) アクションプランの構成

第2期アクションプランでは、4つの重点目標、重点目標を達成するために必要な5つの個別目標、進捗状況を管理するロードマップ指標を設定します。

図2 第2期アクションプラン（2020～2022）の構成

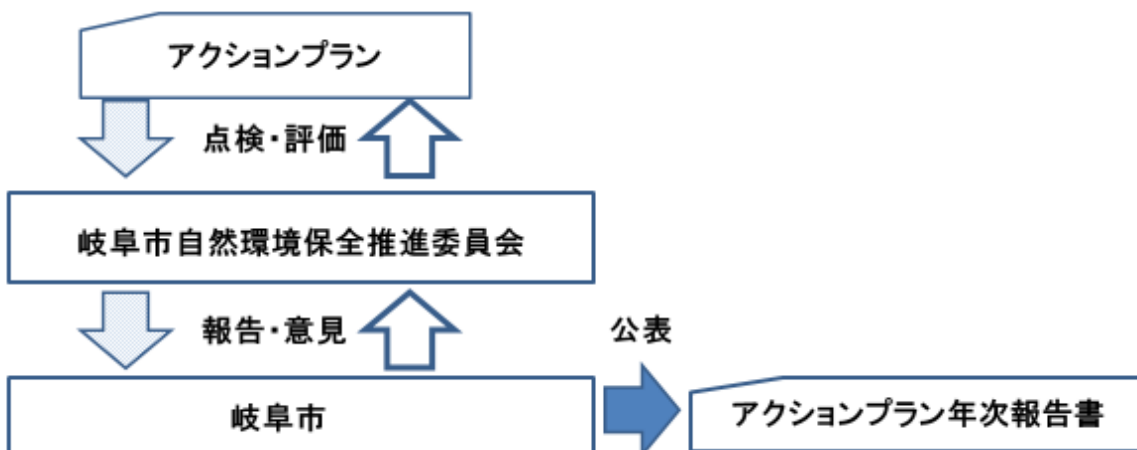


4. アクションプランの管理方法

「生物多様性プラン」では、アクションプランの進捗状況を毎年点検し、評価結果を公表することとしています。点検・評価は岐阜市自然環境保全推進委員会において行い、「岐阜市」は、その点検・評価結果を「アクションプラン年次報告書」にて公表します。

なお、点検・評価結果を踏まえ、必要に応じてアクションプランの見直しを行います。

図3 アクションプランの管理体制



5. アクションプランの指標と目標

指標	目標 (2022 年度)	進捗状況の実績		
		2020 年度	2021 年度	2022 年度
A1 環境教育を 15 回以上実施 します (回/年)	15 回以上	15 回	26 回	
A1 生物多様性の認知度の向 上を図ります (%)	50%以上	51%	58%	
B1 市民との協働による活動 を 60 回以上実施します (回/年)	60 回以上	88 回	80 回	
B2 行政、有識者との連携の機 会を 60 回以上実施します (回/年)	60 回以上	97 回	107 回	
C1 「岐阜市の自然情報調査」 を実施します	「岐阜市の自然情報 調査」結果とりまとめ	「岐阜市の自 然情報調査」 を実施	「岐阜市の自 然情報調査」 を完了	
C1 レッドリスト等のあり方 を検討します	レッドリスト等のあり方を 決定 (2021 年度目標)	レッドリスト 等の あり方を検討	レッドリスト 等の あり方を決定	
D1 産業と生物多様性の関連 についての周知・啓発の機 会を 1 回以上実施します (回/年)	1 回以上実施	0 回	6 回	

6. アクションプラン総括表

(1) 個別目標

重点目標と個別目標	個票 ページ	進捗状況		
		2020 年度	2021 年度	2022 年度
A 市民、行政内への周知・啓発				
A1 環境教育の推進及び生物多様性の認知度の向上	6	◎	◎	
B 生物多様性保全の連携ネットワークの拡大				
B1 市民による保全と再生の推進	7	◎	◎	
B2 行政、有識者等との連携	8	◎	◎	
C 生物多様性の現状把握と対策検討				
C1 「岐阜市の自然情報調査」の実施及びレッドリスト等のあり方を検討	9	◎	◎	
D 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発				
D1 理解・促進方法の検討	10	△	◎	

進捗状況：順調◎、ほぼ順調○、やや遅延△、遅延×

(2) 全体評価

	意見	進捗状況
2020 年度	生物多様性の恵みの活用については、具体的な取組を実施する必要があるものの、プラン全体としては概ね評価できる取組となっている。 ただし、行政が施策として主導するだけでなく、市民や市民団体との協働、子どもたちの学校での活動等、長期的な視点を持った取組を引き続き推進する必要があると考えます。	◎
2021 年度	ロードマップ指標の目標値は、概ね達成され、評価できます。 但し、各年度において、目標値を達成することだけではなく、不断の取組みを継続していくことが大切です。 また、数値目標は、目標とした数値の達成を評価するだけではなく、その内容も評価することも必要です。 第3期アクションプランの策定に向けて、これまでの目標達成状況を踏まえ、目標の設定や評価の手法について、改めて検討をしてもらいたいと考えます。	◎
2022 年度		

※岐阜市自然環境保全推進委員会の意見を記載する。

7. 個別目標

(1) 個別目標個票 A1

基本方針	生物多様性への理解を進めます
取組	理解を進めるための取組
重点目標 A	市民、行政内への周知・啓発
個別目標 A1	環境教育の推進及び生物多様性の認知度の向上
取組内容	
・小中学生を対象とした、水辺の生き物調査、出前講座、学生環境会議、アースレンジャー自然体験塾等の環境教育を 26 回実施し、延べ 1464 人参加しました。 ・小中学生を対象とした、自然観察等の市民団体との協働による環境教育を 9 回実施し、延べ 360 人参加しました。 ・金華山や森林について等の、市民団体等が行う環境教育が 19 回実施され、延べ 1433 人参加しました。（各委員や自然環境保全活動団体等への照会回答を集計） ・市民団体の開催する、環境教育活動等の周知・支援を 1 回実施しました。 ・広報ぎふに、外来種の周知啓発の文章を 1 回掲載しました。 ・岐阜市の広報番組「ぎふっ ciao!」にて、岐阜市の貴重野生動植物種を紹介し、CCN にて放送と、岐阜市公式 YouTube にて掲載を行いました。	

ロードマップ

指標		2020	2021	2022
環境教育を 15 回以上/年 実施します 基準値（2018 年度）15 回	目標値	15 回以上/年 実施	15 回以上/年 実施	15 回以上/年 実施
	実績値	15 回	26 回	
生物多様性の認知度の 向上を図ります 基準値（2018 年度）35%	目標値	増加	増加	50%以上
	実績値	51%	58%	

※環境教育の算出方法：岐阜市役所が行う、環境教育の合計

※認知度の算出方法：ぎふメディアコスモス来館者 469 人へのアンケート調査結果および市政モニター 184 人への認知度調査結果の平均（2021 年度）

取組みによる効果

- ・生物多様性保全や持続可能な社会を推進する次世代を担う若者が育成されました。
- ・市民の自然に対する関心や愛着をより一層深めました。
- ・行政・市民団体等の開催する環境教育活動の参加者が増えました。
- ・水辺の生物調査を行った学校が、出前講座や市民団体との協働による環境教育を続けて行い、調べ学習と発表を行うなど、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力が育まれました。

(2) 個別目標個票 B1

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組めます
取組	保全・再生などについての取組
重点目標 B	生物多様性保全の連携ネットワークの拡大
個別目標 B1	市民による保全と再生の推進
取組内容	
・自然ふれあい活動支援事業を実施し、環境保全活動を行いました。 ・達目洞や大洞里山の保全活動等、市民団体と協働した環境保全活動や協議を 68 回行いました。 ・長良川流域環境ネットワーク協議会が実施する、長良川環境学習や川の調査等の活動参加や支援を 11 回行いました。 ・市民団体が行う、生物多様性保全に係るイベントへの参加や支援を 1 回行いました。 ・ぎふネイチャーネットにて、市民団体の保全活動等が周知されました。	

ロードマップ

指標		2020 年度	2021 年度	2022 年度
市民との協働による活動を 60 回以上/年実施します	目標値	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施
	実績値	88 回	80 回	

取組みによる効果

- ・地域住民、市民団体、行政との協働による環境保全活動が促進されました。
- ・環境保全活動を通じ、市民との連携が促進されました。
- ・長良川流域の連携が促進されました。
- ・市民団体の行う生物多様性保全に係るイベントや保全活動等への参加者が増えました。

(3) 個別目標個票 B2

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます
取組	保全・再生などについての取組
重点目標 B	生物多様性保全の連携ネットワークの拡大
個別目標 B2	行政、有識者等との連携
取組内容	
・カタクリ群生地、達目洞等、貴重な動植物が生育する地域の整備等の環境保全について、行政や有識者と協議・協力を 35 回行いました。 ・伊自良川や石田川、松尾池等、国や県が実施する改修計画や現地調査への参加・協力を 24 回行いました。 ・「岐阜市の自然情報調査」のための、行政、有識者等との連携を 43 回行いました。 ・各種団体等が行う、生物多様性に係るイベント・会議への参加や支援を 5 回行いました。 ・ぎふネイチャーネットにて、各種団体が行う保全活動等が周知されました。	

ロードマップ

指標		2020 年度	2021 年度	2022 年度
行政、有識者との連携の機会を 60 回以上/年 実施します	目標値	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施
	実績値	97 回	107 回	

取組みによる効果

- ・地域住民、市民団体、行政との協働による環境保全活動が促進されました。
- ・金華山国有林管理者と、市民団体の連携が促進されました。
- ・生物多様性保全に係る行政、有識者の連携を促進しました。
- ・「岐阜市の自然情報調査」が促進されました。
- ・各種団体等が行う生物多様性保全に係るイベントへの参加者が増えました。

(4) 個別目標個票 C1

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます
取組	保全・再生などについての取組
重点目標 C	生物多様性の現状把握と対策検討
個別目標 C1	「岐阜市の自然情報調査」の実施及びレッドリスト等のあり方を検討
取組内容	
・2020 年度に引き続き、「岐阜市の自然情報調査」を実施しました。 ・「岐阜市の自然情報調査」の実施にあたり、各調査員へ調査地点の選定等に係る情報提供や現地調査に係る調整事務を行いました。 ・国、県、大学、関係機関に働きかけ、「岐阜市の自然情報調査」に係る、資料、文献の調査を行いました。 ・岐阜市自然環境保全推進委員会を 3 回、保全・再生部会を 2 回開催し、「岐阜市の自然情報調査」の報告とレッドリスト等のあり方を決定しました。	

ロードマップ

指標		2020 年度	2021 年度	2022 年度
「岐阜市の自然情報調査」を実施します	目標値	「岐阜市の自然情報調査」を実施	「岐阜市の自然情報調査」を完了	「岐阜市の自然情報調査」結果とりまとめ
	実績値	「岐阜市の自然情報調査」を実施	レッドリスト等の改訂に先立つ「岐阜市の自然情報調査」を完了	
レッドリスト等のあり方を検討します	目標値	レッドリスト等のあり方を検討	レッドリスト等のあり方を決定	(レッドリスト等の選定)
	実績値	レッドリスト等のあり方を検討	レッドリスト等のあり方を決定	

取組みによる効果

- ・「岐阜市の自然情報調査」のデータ件数が増加しました。
- ・「岐阜市の自然情報調査」を実施し、岐阜市内に生息・生育する動植物の把握を行いました。
- ・市職員が「岐阜市の自然情報調査」に参加し、専門家と交流することで、動植物についての理解が進み、市職員の資質向上と環境行政の推進に貢献しました。
- ・「岐阜市の自然情報調査」を通じて、次世代を担う若者の調査員が増えました。
- ・次期レッドリストの改訂についての方向性を決めました。

(5) 個別目標個票 D1

基本方針	生物多様性の恵みを活用します
取組	活用などについての取組
重点目標 D	産業と生物多様性の関連についての周知・啓発
個別目標 D1	理解・促進方法の検討
取組内容	
・生物多様性シンポジウムを 1 回開催し、産業と生物多様性の関連についての周知・啓発を行いました。また、その内容を、ホームページや岐阜市公式 YouTube に掲載しました。 ・岐阜市自然環境保全推進委員会と普及・活用部会を各 1 回開催し、産業と生物多様性の関連についての周知・啓発方法等の協議を行いました。 ・2020 年度の普及・活用部会の協議内容を踏まえ、市民が楽しく自然に親しみ、生物多様性やその恩恵を感じられるプログラムとして、アースレンジャー自然体験塾を 5 回開催しました。	

ロードマップ

指標		2020 年度	2021 年度	2022 年度
産業と生物多様性の関連についての周知・啓発の機会を 1 回以上/年実施します	目標値	1 回以上/年 実施	1 回以上/年 実施	1 回以上/年 実施
	実績値	0 回	6 回	

取組みによる効果

- ・生物多様性シンポジウムの参加者へアンケートを取った結果、生物多様性の理解度が 33%から 59%になる等、生物多様性への理解や、産業と生物多様性の関連について、周知がされました。
- ・シンポジウムの動画が合計 100 回再生される等、シンポジウム参加者以外の市民への周知・啓発がされました。
- ・アースレンジャー自然体験塾を開催する事により、小・中学生とその保護者が生物多様性やその恩恵を感じる事ができました。